



当社の社名「Delta-Fly」は
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)及び第3回無担保社債(私募債)発行
に関する説明資料

2026年7月22日

Delta-Fly Pharma株式会社
(東証グロース:4598)

今回の調達資金は研究開発、治験の進展のために充当

目的

社債により即座に資金を調達しつつ、新株予約権により当面の研究開発費用を確保

資金使途

①DFP-10917+VEN併用の臨床第 1 / 2 相試験の研究開発費及び第 3 相試験の研究開発費	750 百万円
②DFP-14323の臨床第 3 相試験の研究開発費	326 百万円
③DFP-11207の胆道がんに対する医師主導治験の研究開発費	50 百万円
④その他パイプラインの研究開発費、開発体制・管理体制の関連費用（報酬・人件費等） 及び特許関連費用（登録・年金）等	120 百万円

※ 各資金使途の総額は、第12回新株予約権の発行価額の総額に、本新株予約権が全て当初行使価額で行使された場合における金額を合算した金額から、発行諸費用25百万円を差し引いた手取概算額を記載しております。
なお、DFP-10917+VEN併用の臨床第1/2相試験の研究開発費及び第3相試験の研究開発費のうち150百万円は第3回無担保社債発行による調達金額が充当され、第12回新株予約権発行及び行使による調達金額のうち150百万円は第3回無担保社債の償還資金に充当される予定です。

第12回新株予約権及び第3回無担保社債(私募債)による資金調達を実施

第12回新株予約権

資金調達総額	約12.7億円(当初行使価額ベース)
潜在株式数	10,000,000株
潜在希薄化率	75.90%
権利行使期間	約2年間(2026年8月10日から2028年8月10日まで)
発行決議日／払込日	2026年7月22日／2026年8月7日
当初行使価額／下限行使価額	127円／64円
行使価額修正	割当日の2営業日後に初回の修正がされ、以後1営業日毎に直前3営業日終値の最低値×100%に修正
ロックアップ／優先交渉権	なし／なし
割当先	EVO FUND

第3回無担保社債(私募債)

社債の額面総額	1.5億円
発行決議日／払込日／満期償還日	2026年7月22日／2026年7月23日／2028年8月10日
利率	年率0.0%
発行価額／償還価額	額面100円につき金100円／額面100円につき金100円
割当先	EVO FUND

※ 本ファイナンスに関する詳細は、本日公表のプレスリリース「第三者割当による第12回新株予約権(行使価額修正条項付)及び第3回無担保社債(私募債)の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 本ファイナンスに関する背景と目的

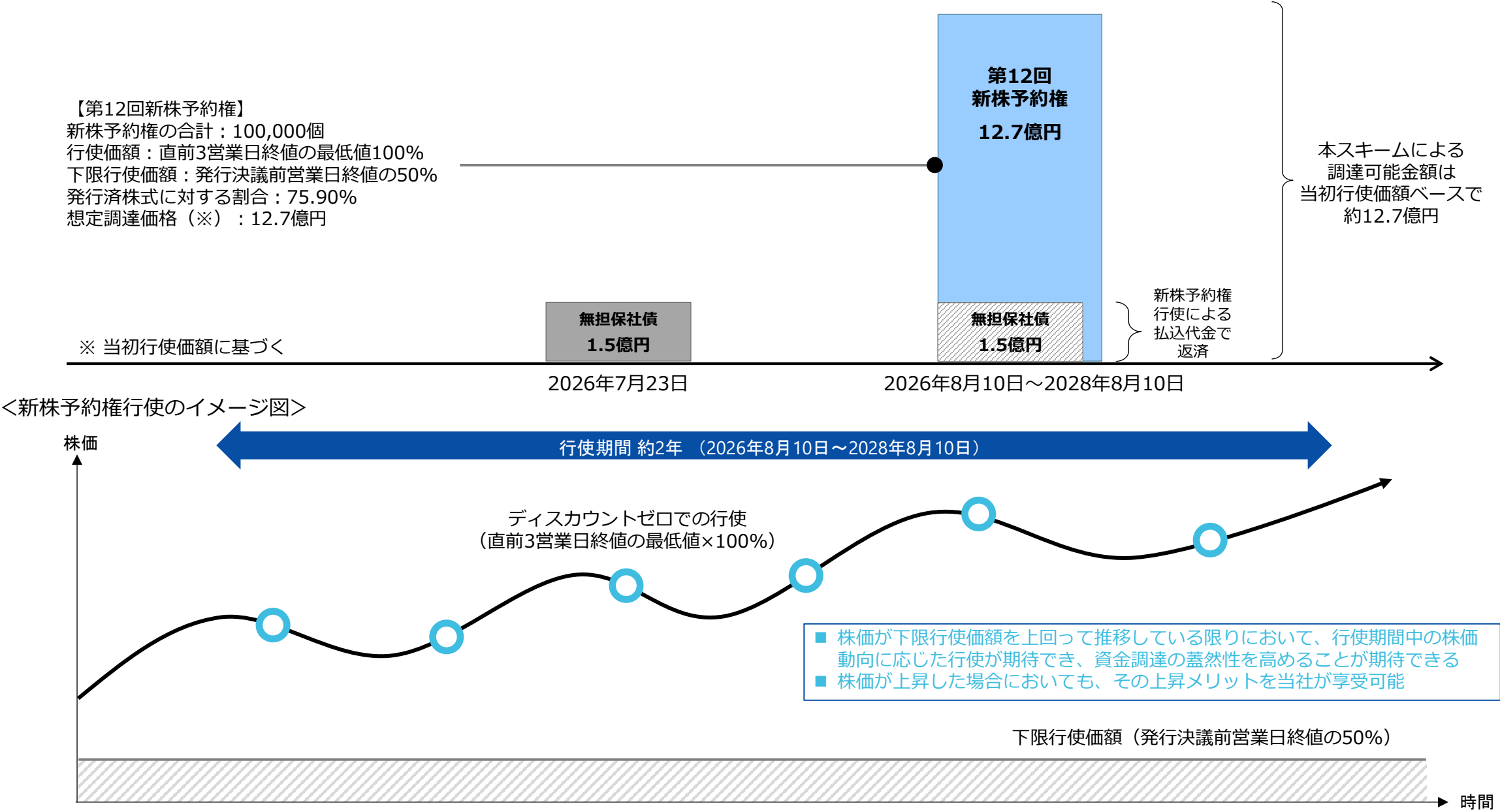
- 本ファイナンスに際し、EVOLUTION JAPAN証券から提案を受けた第12回新株予約権及び第3回無担保社債をEVO FUNDに割当てるスキームが、社債により即座に資金を調達できることに加えて、株式ではなく、新株予約権を発行することから株価に対する一時的な影響を抑制しつつ資金調達をすることができ、全体として、当社の当面の資金需要を満たす資金を比較的早期にかつ相当程度高い蓋然性をもって調達できる設計となっているため、当社の今後の成長にとって最善であると判断

2. 行使価額修正条項付新株予約権及び無担保社債の発行

- 社債の発行により、即座に資金を調達
- 行使価額修正条項付の新株予約権の発行により、当面の資金需要充足を企図
- 株価が下限行使価額を上回って推移している限りにおいて、行使期間中の株価動向に応じた行使が期待でき、資金調達の蓋然性を高めることが期待できる
- 株価が上昇した場合においても、その上昇メリットを当社が享受可能

3. 希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

- 希薄化の発生が新株発行対比で段階的
- 相当程度の希薄化が生じることになるが、想定どおり進んでいない既存の新株予約権による資金調達の不足分を補い、今後の事業拡大につなげることができると判断
- 将来的に当社の資金ニーズが後退した場合や資本政策方針が変更になった場合等、本新株予約権を取得することにより希薄化を防止できるほか、ロックアップ等が付与されていないことで資本政策の柔軟性も確保可能



※ 上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移することをお約束するものではありません。

- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。



IRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社 東京オフィス

E-mail info@delta-flypharma.co.jp

URL <https://www.delta-flypharma.co.jp/>